

行事名	33 rd Conference of ASEAN Federation of Engineering Organizations (CAFEO 33) 22 nd Young Engineers of AFEO Meeting (YEAFFEO Meeting 22)
日時	2015年11月22日-11月25日
場所	Hotel Equatorial (ペナン、マレーシア)
派遣団 (○：リーダー)	18名 <公費> 松井 聡大 技術士 (機械)、高橋 義也 修習技術者 (情報工学)、栗野 美智子 修習技術者 (経営工学) <私費> ○安力川 幸司 技術士 (電気電子、情報工学)、松田 みゆき 技術士 (繊維)、佐藤 理英 技術士 (化学)、豊田 充洋 技術士 (機械)、坂東 大輔 技術士 (情報工学)、北元 芳明 技術士 (電気電子)、金高 智之 技術士 (建設)、塚越 基 (情報工学)、川崎 大輔 修習技術者 (機械)、利根川 聡史 (学生)、酒井 大輝 (学生)、江藤 大智 (学生)、稲葉 未華 (学生)、明山 公也 修習技術者 (機械)、園家 研一郎 技術士補 (航空・宇宙)
担当者：	高橋、栗野、北元、明山、松井 (記)
参加者数	約200名

1. 背景・目的

「ASEAN 諸国の青年技術者組織との情報交換」、「青年技術者の国際感覚の醸成」、「国際活動機会の提供」および「2国間交流の実現」を目的として、青年技術士交流委員会 (YEC) は2003年から継続して CAFEO/YEAFFEO Meeting に派遣団を送っている。2015年にペナン(マレーシア)で開催された CAFEO 33/YEAFFEO Meeting 22 へは、公費派遣者3名、私費派遣者15名が参加した。なお、同会議には ASEAN 諸国 (ラオス欠席)に加えて、香港、台湾、韓国、オーストラリア、日本がオブザーバーとして参加した。

2. 派遣内容

2.1 準備

派遣準備として、次の6項目を行った。

- (1) 事前 Mtg 開催 (2回)： 主題会議への参加目的を確認、準備の進捗状況を共有。
- (2) 名刺作成： 日本派遣団でフォーマットを統一した名刺を作成 (顔写真入り)。
- (3) プレゼント調達： ASEAN 各国代表およびメンバー宛てに万華鏡、菓子を用意。
- (4) 渡航準備： 航空券、宿泊施設、会議参加登録を実施。
- (5) Country Report 作成： 各国青年技術者組織との情報交換を目的として PPT を作成。
- (6) 演舞準備： Closing Ceremony で披露する演舞の企画、練習。

2.2 スケジュール

- 11月21日（土）： Arrive at Penang
- 11月22日（日）： Futsal、YEAFFEO Lunch
- 11月23日（月）： Heritage Hunt、Welcoming Dinner
- 11月24日（火）： Opening Ceremony、Disaster/Publication/Graduation WG、Country Report、Board Mtg、Exchange Souvenir、YEAFFEO Dinner、Café/Bistro
- 11月25日（水）： Technical Seminar、YEAFFEO Technical Visit、Closing Ceremony、Gala Dinner
- 11月26日（木）： Leave Penang

2.3 結果

1. 総括

- ・ 日本派遣団全員（計18人）が CAFFEO 33/YEAFFEO Meeting 22 に参加した。
- ・ Futsal、Heritage Hunt、Lunch/Dinner を通して、各国参加者と交流を深めた（名刺、FB アカウントの交換）。
- ・ Disaster/Publication/Graduation WG の全てに日本代表が参加した（詳細後述）。
- ・ Country Report として、YEC の活動内容を各国参加者に報告した。
- ・ 各国代表およびメンバーとプレゼントを交換した。
- ・ Closing Ceremony にて、演舞（空手、AKB48）を披露した。

2. WG

<WG の位置づけ>

特定のテーマに対して各国のアイデア、取組みを共有するための枠組み。現在、「Disaster Preparedness（防災）」、「Publication（出版）」、「Graduation Affairs（教育）」の3つが組織されている。

<各 WG の活動報告>

■ Disaster Preparedness WG

ミッション： 各国の防災施策の共有、被災地への緊急支援に向けた枠組みの構築。

参加者： 松井、北元

アクション： 次回 Mtg までに自国の防災計画を調査し YEAFFEO 内で共有する。

■ Publication WG

ミッション： 各国の青年委員会の活動内容の共有、他 WG の情報交換の支援。

参加者： 栗野、明山

アクション： 毎月、最終月曜日に YEAFFEO 事務局に News Letter を提出する（事務局内でのレビュー後、一般に公開）。

■ Graduation Affairs WG

ミッション： 各国の学生（若手技術者）の育成施策、キャリアパスの共有。

参加者： 高橋

アクション： 次回 Mtg までに自国の育成施策を調査し YEAFEO 内で共有する。また、随時、他国向けの就職、インターンシップ、オープンコースに関する情報を YEAFEO 内で共有する。

3. 考察

3.1 成果

- ・ 次の実績により日本の存在感をアピールすることができた。
 - － 過去最多 18 人が日本派遣団として参加した。
 - － 各 WG で積極的に議論に参加し、日本代表として意見を述べた。
 - － 複数回参加者が多く、初参加者と各国参加者との橋渡しを担った。
- ・ Facebook アカウントを交換したことで、会議終了後も継続的にコンタクトを取る環境が整った。
- ・ 学生をはじめとして、参加者の国際感覚（各国の勢い、意識・英語力の高さ、文化の違いなど）を育むことができた。また、それらを帰国後に共有する下地が整った。

3.2 提案

1. 今後の派遣の在り方

＜学生の勧誘＞

他国参加者の大部分は学生である。「交流の密度を高めるため」、また「早期から国際感覚を育むため」、今後も日本派遣団に学生の参加が不可欠である。これを実現するために、次の施策を検討する。

- ・ 新設された「学生 WG」を通じた参加者へのアナウンス。
- ・ 技術士組織（OB 会）を通じた大学、高専へのアナウンス。
- ・ 修習委員会との連携。

＜各地域本部メンバーの勧誘＞

CAFEO/YEAFEO Meeting をはじめとした国際活動機会は統括本部だけでなく、各地域本部メンバーあるいは他の技術士会会員・非会員に広く提供されるべきものである。これを実現するために、次の機会を活用する。併せて、青年委員会 HP、同報メールの使用可否を検討する。

- 6 月 10 日-11 日： ミニ全国大会（東北）
- 6 月 25 日（土）： 英語イベント（東京）
- 11 月 13 日-16 日： 全国大会（神奈川）

2. YEAFEO News Letter への寄稿

2015 年 12 月より、国際 G を中心として YEAFEO News Letter へ寄稿している。活動の継続性確保、オブザーバーとしての存在感・発言力向上、英語での自己表現力の訓練機会として、統括本部に限らず各地域本部メンバーに広く寄稿をご検討頂きたい（特に新設された「英語 WG」）。

3. CAFE0 34/YEAFEO Meeting 23

2016年開催地はマニラ（フィリピン）である。ASEAN 諸国内では日本との距離が短く、渡航しやすい環境である。今回と同様に多くの参加者を募り、実りある活動につなげたい。

3.3 引き継ぎ

- ・ 事前 Mtg、反省会、報告会の日程調整に苦慮するため、募集段階で日程を明示すべき。
- ・ 派遣団において、学生は社会人と同じ立場（参加者）であるが、委縮してしまう傾向がある。両者のコミュニケーションを深めるイベントを早期に実施すべき。
- ・ 参加者（特に学生）が多くなることにより、引率者のスケジュール管理が困難になる。可能な限りパッケージツアーを採用すべき。
- ・ 宿泊施設が分散してしまう場合であっても、互いに徒歩で移動できる範囲内に確保すべき。
- ・ 参加者同士の現地でのコミュニケーションは FB で行うため、ネットワーク環境の確保が不可欠である（WiFi ルータのレンタル、SIM カードの購入）。



Fig. 1 Futsal



Fig. 2 Heritage Hunt



Fig. 3 Welcoming Dinner



Fig. 4 Disaster Preparedness WG



Fig. 5 Publication WG



Fig. 6 Graduation Affairs WG



Fig. 7,8 YEAFEO Technical Visit



Fig. 9,10 Closing Ceremony



Fig. 11 Representatives of YEAFEO



Fig. 12 Japanese Delegation

以上